



HOPPY team TSUCHIYA
レースレポート
2026 AUTOBACS SUPER GT Round7
AUTOPOLIS GT 3HOURS RACE

日時	2026 年 10 月 17 日(土)、18 日(日)	■車両名	HOPPY Schatz GR Supra GT
■場所	オートポリス（大分県日田市）	■カーNo.	25
■監督	土屋 武士	■ドライバー	松井 孝允／洞地 遼大
■チーム	HOPPY team TSUCHIYA	■リザルト	予選 Q1 B 組 6 位/Q2 4 位 (3 番グリッド) 決勝 17 位

予選で示した速さは「手応え」を「確信」にする、大きな一歩

第 6 戦菅生から 4 週間のインターバルを経て迎えた第 7 戦。舞台は大分県日田市のオートポリスだ。全長 4.674km のコースはアップダウンに富み、マシンとタイヤに大きな負荷がかかる。加えて今大会は 3 時間の長丁場。ピット戦略も勝負を大きく左右する。前戦菅生では 14 位でフィニッシュし、今季初の選手権ポイントを獲得。「手応え」が「確信」へと変わりつつあるなか、その流れをさらに確かなものにできるかが試される一戦となった。

第 5 戦鈴鹿で掴んだ Momentum をキープして迎えたオートポリス。武士監督もホピ子に自信と期待を寄せるなか、週末が幕を開けた。



10 月 17 日（土）フリー走行、公式予選

土曜日のオートポリスは終日晴れ。フリー走行、公式予選ともドライコンディションとなった。



▼フリー走行＜GT300 22 位 1 分 45 秒 943＞

セッションは午前 10 時 30 分にスタート。路面はドライ。まずは洞地選手のドライブでコースイン。数周ののち松井選手にチェンジ。マシンを降りてきた洞地選手は「セクター2 とセクター3 のフィーリングは良いです」とコメント。前日に武士監督は「セクター3 がコース攻略の鍵」と話していただけに悪くないフィードバックだ。替わった松井選手はコースインして 3 周目に 1 分 45 秒 943 をマーク。これがこのセッションの 25 号車のベストタイムとなった。トップ（61 号車 SUBARU BRZ）の 1 分 44 秒 178 からは 1 秒 765 差。再度洞地選手に交代。洞地選手は 1 分 46 秒 614 を記録した。

2 度の赤旗中断を挟んだが、二人合わせて 27 周を走り込んだ。トップから 2 秒以内に 24 台がひしめく大混戦のなか、結果は GT300 クラス 22 位でフリー走行を終えた。

▼予選 Q1:洞地遼大 B 組 6 位 1 分 44 秒 479（Q2 進出）/Q2:松井孝允 4 位 1 分 43 秒 369

公式予選 Q1、25 号車は 14 台が出走する B 組。Q2 に進めるのは上位 9 台のみだ。洞地選手が Q1 を担当し、Q2 は鈴鹿以降調子を取り戻した松井選手で上位を狙う作戦だ。午後 2 時 48 分に Q1 がスタート。

アウトラップから2周タイヤを温め、4周目にタイムアタック。刻んだタイムは1分44秒479。フリー走行のベストからタイムを縮め、B組6位に食い込んだ。トップの60号車からは0秒536差。しっかりと役割を果たしQ2進出を決めた。

続くQ2は松井選手が担当。Q1での良い流れに期待もかかる。コースインして同じように2周ウォームアップ。そして4周目にタイムアタックに突入。セクター1、悪くない。続くセクター2も好タイム。ピットで見守るメカニックとスタッフ達も息を呑んでモニターを見つめる。さあタイムは…、フィニッシュラインを通過した瞬間に25号車の名前が表示されたのは上から3番目！ピットでは少々の驚きを含んだ笑顔が広がる。最終的に1台にタイムを上回られ、Q2は4位。記録したタイムは1分43秒369。3位の52号車とはわずか0秒027差という僅差だった。ピットに戻ってきた松井選手を武士監督始めチーム全員が笑顔と拍手で迎えた。松井選手はヘルメットを取るなり「緊張したー！」と、とびきりの笑顔と共に一言。後にQ2で2番手だった2号車が走路妨害により2グリッド降格となり、25号車は決勝を3番グリッドからスタートすることになった。2022年に生まれたホピ子にとって最上位のグリッド獲得となり、菅生で得た「確信」を裏づける結果となった。



10月18日(日) 決勝レース

▼決勝<GT300 17位>



決勝日も朝から晴天に恵まれ、気温は23.6℃まで上がった。路面はドライ。昨日までよりも少し風が強まったコンディションだ。7月に発生した熊本地震を受け「熊本復興支援大会」となった今回のレースには、多くのファンがサーキットに詰めかけ、日曜日の入場者数は18,000名、土日合計で30,000名にのぼった。決勝のグリッドには松井選手のもとに旧知のドライバー達が次々にやってきて健闘を称え、松井選手も笑顔で応じていた。

決勝は松井選手が最初のスティントを担当。2度の給油義務がある今回は、松井選手が2スティント、洞地選手が1スティントを担当するという想定だ。

午後1時16分、3時間の決勝レースがスタートした。オープニングラップで2台に先行され5位にポジションダウンするものの、そのポジションをキープしレース序盤を走行する。

23周目に31号車がクラッシュ。セーフティカー(SC)が導入され、レースが動き出す。28周目(午後2時10分)まで隊列走行が続いた。SC走行が明けてすぐに25号車は最初のピットイン。長めの給油と左側2輪タイヤ交換を済ませ24位でコースへ戻る。じわじわと順位を上げ9位まで上がってきた49周目に11号車がコース脇にストップ。フルコースイエロー(FCY)からSCとなった。これが長引くと踏んだ武士監督はこの間に給油のみのピットストップを指示。SC走行でピットタイムロスが最小限になるタイミングで時間のかかる給油を済ませ、最後のピットストップでの給油時間を短縮する狙いだ。ところがここで想定外の出来事が。11号車よりも早い55周目に詰めることがでアンラッキーな展開。タイヤ交換。給油位でコースへ復帰。定しない。1分50秒、49秒台に上形になった。



なんと自力で再スタートを切ったのだ。この結果、予想以上にレース再開となってしまった。前に行く隊列との間を十きないままのリスタート。これは25号車にとってはなんとものだ。56周目に再びピットインし、ドライバーチェンジと4輪をほんの数秒で済ませた結果、ポジションを落とさず19ただ、最後のスティントを担当した洞地選手のペースが安秒台で走り始めたが、52秒台にペースが落ちたかと思えるラップもあるなど、やや苦しいドライビングを強いられる

さらにレース終盤、25号車にドライブスルーペナルティが科された。レギュレーション上、タイヤ交換と給油は同時にはできないのだ

が、作業中にわずかに重なってしまったためだ。これで再び 20 位まで順位を落とす。しかしその後、洞地選手が「原因は分かりませんが、グリップが安定しなかった」と話す厳しい状況のなかでも追い上げを見せ、ポジションを少しずつ挽回していく。



午後 4 時 18 分、3 時間の戦いにチェッカーが振られた。25 号車は 92 周を走りきり、GT300 クラス 17 位でフィニッシュした。松井選手が 55 周、洞地選手が 37 周を走行。松井選手が記録したレース中のベストラップ 1 分 46 秒 956 は GT300 クラス 6 位となる好タイムだった。

3 番グリッドという好位置からのスタートを決勝の結果に結びつけられなかった悔しさは大きい。一方で、予選で Q1・Q2 とともに確かな速さを示して 4 位へ飛躍できたことは、ホピ子の進化が結果となって現れ始めたとも言えるだろう。それだけにレースで結果を残すということの難しさを改めて感じさせる一戦となった。

開幕戦 27 位、第 2 戦 17 位、第 4 戦 20 位、第 5 戦 16 位、第 6 戦 14 位と歩んできた今シーズンも残すは最終戦のみ。最終戦は 11 月 6～8 日、舞台はモビリティリゾートもてぎだ。この大会では、世界情勢に鑑みて延期になった第 3 戦セパンの代替レースも開催され 1 イベント 2 レースという形で行われる。今回の予選で見せた速さを決勝の結果へとつなげるべく、武士監督以下チーム一丸となって最終戦に挑んでいく。

▽土屋武士監督、松井孝允選手、洞地遼大選手の決勝レース後のコメントはこちらからご覧ください。

土屋監督 <https://youtube.com/shorts/VRq5Ck0zid4>

松井選手 <https://youtube.com/shorts/ER-mVZAKKoc>

洞地選手 https://youtube.com/shorts/Dhv_RJRoxnY

◎つちやエンジニアリングの YouTube チャンネル「つちやエンジニアリング_sub_ch」

広報・豊原が運営する YouTube チャンネル INFINITY MOMENT でも随時 HOPPY team TSUCHIYA の戦いを追っていく予定です。

こちらも是非、チャンネル登録のほど、よろしくお願いいたします。

URL: https://www.youtube.com/@tsuchiya_25



つちやエンジニアリング_sub_ch

レース搬入日の直前情報、レースの見どころ情報、

予選後、決勝後の監督・ドライバーのコメントなどはこちらです。

URL: <https://www.youtube.com/@infinitymoment-tv>



INFINITY MOMENT

特集動画や武士監督のロングインタビューなどはこちらです。

【問い合わせ先】

つちやエンジニアリング合同会社

〒252-0822 神奈川県藤沢市葛原 2507

TEL : 0466-49-5010 FAX : 0466-49-5011

担当：土屋・豊原